

「medicina」 第 24 巻 総目次

1987 年 第 1 号～第 13 号

数字は通巻頁数, () は号数, 10 号は増刊号です.

〔今月の主題〕

糖尿病診療の現況 (1)

糖尿病診療の現況	繁田 幸男	6
病型分類—WHO 1985 兼子 俊男		8
〈糖尿病の病因はどこまでわかっているか〉		
I 型糖尿病	井村 裕夫	12
II 型糖尿病	河盛 隆造・他	16
〈糖尿病の診断とコントロール基準〉		
診断基準とその根拠	佐々木 陽	18
コントロールの指標となる検査	坂本 信夫・他	22
ヘモグロビン A _{1c} の臨床的意義	老根 宗忠	24
〈糖尿病の治療と患者指導〉		
糖尿病治療の目標	平田 幸正	26
患者と医療スタッフとのふれあい	石垣 健一	28
食事療法の効果的な指導法	泉 寛治・他	32
運動療法の具体的な指導法	藤井 暁・他	36
経口血糖降下剤の使い方	三家登喜夫・他	38
血糖自己測定—保険適用その実際	南 信明・他	40
インスリン頻回注射法の実際	松田 文子	42
インスリン皮下持続注入療法 (CSII) の 適応と限界	難波 光義・他	44
糖尿病性昏睡の緊急治療	七里 元亮	46
〈合併症の治療と患者指導〉		
網膜症の光凝固と硝子体手術	福田 雅俊	52
腎症患者の食事療法と指導	星 充・他	55
腎症透析患者の管理と指導	山崎 親雄・他	62
起立性低血圧と無力性膀胱の治療	姫井 孟・他	64
壊疽の病態と治療	富長 将人	66
計画妊娠と妊婦の管理	大森 安恵	68
〈トピックス〉		
ヒト・インスリン製剤の長短	中川 昌一	72
インスリン・レセプター異常症と 異常インスリン症	小林 正	74
IDDM (I 型) 糖尿病の免疫療法	豊田 隆謙・他	78
脾移植の現況と展望	高見 実・他	82
〈座談会〉		
糖尿病患者のホームケアをどう指導する		

か	平田 幸正・池田 義雄	
	池田 正毅・繁田 幸男	87
今月の主題・理解のための 10 題	繁田 幸男	102
炎症性腸疾患とその周辺 診断と治療 (2)		
序にかえて	多賀須幸男	186
〈概念・分類と問題点〉		
炎症性腸疾患の概念	吉田 豊	188
潰瘍性大腸炎の診断基準と病期分類	宇都宮利善・他	192
Crohn 病の診断基準と問題点	渡辺 晃	196
腸管 Behçet 病の診断基準と問題点	馬場 正三	200
Crohn 病の activity index (CDAI)	小林 世美	204
炎症性腸疾患と発癌	小西 文雄・他	208
炎症性腸疾患と腸管外病変	成澤林太郎・他	210
〈診 断〉		
炎症性腸疾患の生検診断—役割と限界	武藤徹一郎	212
潰瘍性大腸炎の内視鏡診断—これが キーポイントだ	桜井 幸弘	216
潰瘍性大腸炎の X 線診断—これが キーポイントだ	狩谷 淳・他	218
Crohn 病の内視鏡診断—これが キーポイントだ	樋渡 信夫	222
Crohn 病の X 線診断—これが キーポイントだ	八尾 恒良	224
炎症性腸疾患と大腸結核の鑑別 —これがキーポイントだ	牛尾 恭輔	228
線状潰瘍—典型的な X 線像・内視鏡像	政 信太郎・他	234
Cobblestone 像—典型的な X 線像・ 内視鏡像	長廻 紘	236
Crypt abscess と炎症性ポリープの 病理所見	喜納 勇	240
肉芽腫とは、乾酪化とは	渡辺 英伸	242
Simple ulcer とその鑑別診断	松川 正明・他	244
Aphthoid ucler とその鑑別診断	多田 正大	246
〈治 療〉		
潰瘍性大腸炎の内科的療法	北野 厚生・他	248
重症な潰瘍性大腸炎の集中治療と 動注療法	杉田 昭・他	250

Crohn 病の内科的治療		
西俣 嘉人・他		252
潰瘍性大腸炎・Crohn 病の手術適応	石沢 隆・他	254
Behçet 病の治療	朝倉 均・他	256
炎症性腸疾患の ED と IVH	瀧上 忠彦	258
炎症性腸疾患の home hyperalimen- tation	正田 良介・他	260
炎症性腸疾患患者の食餌指導・生 活指導・妊娠	福田 能啓・他	264
Crohn 病, 腸結核疑診例の治療 による鑑別	望月 福治・他	268
〈座談会〉		
炎症性腸疾患—診断と治療のポイント	北野 厚生・狩谷 淳	
馬場 正三・多賀須幸男		270
今月の主題・理解のための 10 題	多賀須幸男	284
甲状腺疾患 up-to-date (3)		
甲状腺, この蠱惑的な不思議な臓器	尾形 悦郎	366
〈甲状腺疾患へのアプローチ〉		
甲状腺機能異常を疑うヒント	山田 隆司	368
甲状腺に腫瘍が触れるとき	藤本 吉秀	372
〈甲状腺機能検査〉		
検査のすすめ方	女屋 敏正	376
甲状腺機能異常診断のための負荷 試験	小林 功	380
新しい甲状腺機能検査: 高感度 TSH assay と遊離型甲状腺ホルモン	満間 照典	386
甲状腺ホルモン・データの読み方と その落とし穴	森 徹	390
〈甲状腺疾患の画像診断〉		
画像診断のすすめ方	小西 淳二	394
甲状腺の超音波断層診断	貴田岡正史	398
甲状腺 X 線検査	小原 孝男	404
radionuclide 検査	笠木 寛治・他	410
biopsy	宮内 昭	416
〈甲状腺炎〉		
急性化膿性甲状腺炎	小原 孝男・他	420
亜急性甲状腺炎	山本 邦宏	424
無痛性甲状腺炎	浜田 昇	426
慢性甲状腺炎	阿部 好文・他	428
〈甲状腺機能低下症〉		
診断から治療への実際	石井 淳・他	432

〈甲状腺中毒症〉		
甲状腺クリーゼ	小出 義信	436
対症療法	内村 英正・他	438
パセドウ病の治療指針	玉井 一	440
パセドウ病の治療指針	伊藤 國彦	442
パセドウ病の随伴症状	高松 順太	444
〈甲状腺疾患と免疫〉		
甲状腺疾患と免疫—Overview		
	永山 雄二・他	446
TSH 受容体と臨床	市川 陽一	452
〈トピックス〉		
euthyroid sick syndrome		
	葛谷 信明	456
妊娠と甲状腺疾患	百溪 尚子	458
新生児の甲状腺疾患	中島 博徳	460
視床下部・下垂体疾患による甲状腺機能異常	斎藤 史郎	464
甲状腺ホルモン不応症	中村 浩淑	466
〈鼎 談〉		
甲状腺疾患の臨床	網野 信行	
	伊藤 國彦・尾形 悦郎	470
今月の主題・理解のための 10 題		
	尾形 悦郎	482
呼吸不全とその管理 (4)		
呼吸不全—その新しい臨床的アプローチ (editorial)	宮城征四郎	566
〈呼吸不全の病態生理〉		
急性呼吸不全	窪田 達也	570
慢性呼吸不全	谷本 普一	574
呼吸筋不全	金野 公郎・他	576
〈呼吸不全の臨床診断〉		
診断のためのプロトコル		
	檀原 高・他	580
臨床症状と理学所見	宮城征四郎	584
動脈血ガス分析の臨床的解釈	桜井 滋・他	586
肺機能検査—実施上の工夫と解釈	佐々木孝夫	590
呼吸不全の基礎疾患		
	陳 和夫・他	594
〈呼吸不全の治療〉		
呼吸不全治療のプロトコル		
	諏訪 邦夫	599
酸素療法のステップと選択		
	浅井 貞宏	604
吸入療法の適応と実際		
	中島 明雄・他	606
理学療法の適応と実際	蝶名林直彦	609
薬物療法の選択と意義		
	大西 明弘・他	612
〈人工的呼吸管理〉		
人工呼吸—その適応と換気モードの選択		
	およびウィーニング 沼田 克雄	620
気道確保—その適応と方法		
	松村 理司	624
人工呼吸中の全身管理—そのモニタリングとフローシートの作り方		
	藤原 恒夫	627
人工呼吸中の合併症とその対策		

	鶴谷 秀人	630
人工呼吸中の栄養管理		
	金野 公郎・他	634
HFV—その原理と臨床経験		
	福地義之助	638
ECLA, ECMO—その現状と臨床経験		
	寺崎 秀則	640
〈特殊な病態下の呼吸管理の実際〉		
気管支喘息発作重積状態		
	江頭 洋祐・他	642
成人呼吸促迫症候群 (ARDS)		
	加藤 幹夫	644
慢性閉塞性肺疾患 (COPD) 急性増悪		
	水越 和夫・他	646
溺水	当銘 正彦	648
胸部外傷	平安山英盛・他	650
〈呼吸不全のリハビリテーション〉		
リハビリテーション・プログラム		
	梅田 博道	654
運動療法	長坂 行雄	656
呼吸筋強化療法	町田 和子・他	658
在宅人工呼吸器療法の経験		
	岸 不盡彌	660
在宅酸素療法	石原 照夫・他	662
呼吸不全急性増悪の予防と対策		
	稲富 恵子	664
〈鼎 談〉		
呼吸不全へのアプローチ		
	諏訪 邦夫	
	芳賀 敏彦・宮城征四郎	668
今月の主題・理解のための 10 題		
	宮城征四郎	682
内科医に必要な救急治療 (5)		
救急診療の基本	小濱 啓次	760
〈救急治療に必要な基本手技〉		
バイタルサインの見方	藤井 千穂	762
気道確保	小濱 啓次	766
人工呼吸	鈴木幸一郎	768
静脈路確保	田中 茂	772
〈症状を中心とした救急治療〉		
ショック状態	平澤 博之	774
意識障害	西出 和幸	776
頭痛	篠原 幸人	778
痙攣	三井 香児	782
失神	上山 昌史・他	786
めまい	吉本 裕	790
精神症状	黒澤 尚	794
胸痛	東海林哲郎・他	798
不整脈	山本 豊	800
呼吸困難	滝口 雅博	802
腹痛	佐々木仁也	806
悪心・嘔吐	前川 和彦	808
吐血・下血	若林 剛・他	812
下痢	谷村 伸一	814
腰痛	星 秀逸	818
四肢運動障害	堤 晴彦	820
発熱	藤井 千穂	822
発疹	西岡 清	826

〈おもな救急疾患とその治療〉		
脳梗塞	佐藤 雅春	828
脳出血	金谷 春之	832
くも膜下出血	大和田 隆・他	836
脳脊髄膜炎	小栗 顕二	838
心筋梗塞	上嶋権兵衛	842
狭心症	大江 透	846
喘息	山内 教宏	848
CO ₂ ナスコース	青野 允	850
食道静脈瘤破裂	吉井 宏・他	854
胃・十二指腸潰瘍穿孔		
	寺田 浩明・他	856
イレウス	横尾 直樹・他	858
肝性昏睡	神納光一郎	860
糖尿病性昏睡	田口 治義・他	862
家庭用品による中毒	鶴飼 卓	864
食中毒	山本 保博	866
溺水	岩月 尚文	868
異物誤飲	久保山一敏・他	872
熱射病	八幡 孝平・他	876
外傷患者の治療	加来 信雄	878
〈座談会〉		
救急医療あれこれ—注意すべきこと、困ったこと	木村 政良・三井 香児	
	上嶋権兵衛・小濱 啓次	882
今月の主題・理解のための 10 題		
	小濱 啓次	892
循環器疾患の画像診断 (6)		
超音波検査法および心血管造影法の適応と限界	吉川 純一	956
〈方 法〉		
循環器疾患における胸部 X 線の適応と限界	松山 正也	960
断層心エコー図の適応と限界	別府慎太郎	968
M モード心エコー図—現状での位置づけ	大木 崇・他	974
ドブラ法の臨床応用	吉川 純一	980
ドブラ法による心機能の評価		
	北畠 顕・他	990
冠動脈造影法	土師 一夫	998
大血管造影法	門間 和夫	1006
X 線 CT と Digital Subtraction Angiography	高宮 誠	1010
RI 法の実際的な使い方		
	加藤 洋・他	1018
MRI 法の現況	増田 善昭	1024
〈各 論〉		
弁膜疾患 (僧帽弁逸脱を除く)		
	羽田 勝征・他	1029
僧帽弁逸脱	吉田 清	1038
特発性心筋症	古賀 義則・他	1046
虚血性心臓病	原 和弘・他	1054
心膜疾患・心筋炎	永田 正毅・他	1064
腫瘍と血栓	中村 憲司・他	1070
人工弁	木佐貫 彰・他	1080
大動脈疾患	中島 伸之	1088
肺血管疾患	横地 一興・他	1098
日常的にみられる先天性心疾患		

複合心奇形	深谷 隆 1103
〈座談会〉	里見 元義・他 1112
超音波診断の現状と将来	
別府慎太郎・鄭 忠和	
吉田 清・吉川・純一 1117	
今月の主題・理解のための 10 題	
吉川 純一 1130	
肝・胆・膵疾患の画像診断(7)	
肝・胆・膵疾患における画像診断の発展	
平松 京一 1142	
〈各検査法の進歩と限界〉	
肝画像診断のすべて	
単純 X 線写真に含まれる情報	
岩田 美郎・他 1144	
超音波検査	佐藤 通洋 1150
CT スキャン	森山 紀之 1157
RI 検査	内山 暁・他 1164
血管造影検査	中塚 春樹・他 1170
胆・膵画像診断のすべて	
単純 X 線写真におけるレントゲン	
サイン 今西 好正・他 1176	
超音波検査	東 義孝 1184
CT スキャン	小久保 宇・他 1188
RI 検査—胆道系	牧 正子・他 1194
RI 検査—膵	山崎純四郎 1198
PTC と ERCP	有山 襄・他 1202
血管造影検査	井筒 睦 1208
〈疾患別による画像診断アプローチ〉	
肝癌の早期診断	打田日出夫・他 1214
肝癌の術前における画像診断	
岡本 英三・他 1223	
肝癌の画像診断と Interventional	
Radiology	塩山 靖和・他 1228
転移性肝障害の検出	
亀山 富明・他 1234	
肝の良性腫瘍とその鑑別	
森田 穰・他 1240	
門脈圧亢進症の診断	
中村 仁信・他 1250	
その他のびまん性肝疾患—肝炎, 脂肪肝,	
ヘモクロマトーシス 久 直史 1258	
胆道腫瘍とその鑑別診断	
荒井 保明・他 1264	
胆道胆石の画像診断	
土屋 幸浩・他 1272	
肝癌早期診断へのチャレンジ	
井戸 邦雄・他 1278	
肝癌の術前における画像診断	
矢野 真・他 1284	
急性肝炎と慢性肝炎	
黒田 知純・他 1292	
〈鼎 談〉	
肝・胆・膵画像診断の進歩	
大藤 正雄	
打田日出夫・平松 京一 1298	
膠原病診療の実際(8)	
Editorial/膠原病—現状と問題点	

柏崎 禎夫 1336	
〈膠原病理解のための臨床免疫学〉	
免疫担当細胞	狩野 庄吾 1338
サイトカイン	戸村好太郎・他 1340
補 体	稲田 進一 1342
自己抗体—抗核抗体を中心に	
秋月 正史・他 1345	
免疫複合体(Immune Complex)	
吉田 浩 1352	
〈診断基準の必要性和その生かし方〉	
横張 龍一 1355	
〈診断へのアプローチ〉	
膠原病の rule in, rule out と病歴	
聴取のコツ	柏崎 禎夫・他 1360
慢性関節リウマチ	吉沢 久嘉 1366
全身性エリテマトーデス	
東條 毅 1368	
強皮症	近藤 啓文 1370
多発性筋炎と皮膚筋炎	
大島 久二・他 1372	
結節性多発性動脈周囲炎	
安倍 達 1376	
Sjögren 症候群	美田 誠二・他 1378
Overlap 症候群と MCTD	
西間木友衛・他 1382	
〈治療方針のたて方とすすめ方〉	
慢性関節リウマチ	東 威 1384
全身性エリテマトーデス	
市川 陽一 1386	
強皮症	諸井 泰興 1388
多発性筋炎と皮膚筋炎	
齊藤 栄造・他 1390	
結節性多発性動脈炎	橋本 博史 1394
Sjögren 症候群	富井 正邦 1396
Overlap 症候群と MCTD	
宮脇 昌二 1398	
〈話題の膠原病関連疾患〉	
薬剤誘発ループス	岡田 純 1400
成人発症スチル病	松村 高幸・他 1402
Shulman 症候群	斎藤 輝信 1404
リウマチ性多発筋痛症(PMR)	
星 智 1406	
〈免疫療法の現状と展望〉	
免疫抑制療法	熊谷 俊一 1408
抗リウマチ薬	水島 裕 1410
Apheresis, 全身リンパ節 X 線照射	
小川 博遊・他 1414	
〈鼎 談〉	
血管炎症候群—考え方, とうえ方—	
長澤 俊彦	
細田 泰弘・柏崎 禎夫 1420	
今月の主題・理解のための 10 題	
柏崎 禎夫 1432	
肝硬変と肝癌(9)	
診断と治療の未来への展望	
市田 文弘 1532	
〈肝硬変の病態と対策〉	
診断のすすめ方	井上 恭一 1534
腹水・浮腫	川崎 寛中 1538

黄 疸	足立 幸彦・他 1540
出血傾向	岡部 和彦・他 1544
肝腎症候群	奥野 忠雄 1548
上部消化管出血	高瀬 靖広・他 1550
肝性昏睡	渡辺 明治 1554
肝硬変患者の管理	安部 弘彦 1558
〈肝硬変から肝癌へ〉	
肝癌発生の Risk factor	
小林 健一・他 1560	
HBV 感染と肝癌の発生	
三田村圭二 1564	
非 A 非 B 型肝炎と肝癌	
清沢 研道・他 1568	
アルコール性肝硬変と肝癌	
松田 芳郎 1570	
実験肝癌のヒト臨床への応用	
沖田 極・他 1574	
〈肝癌の診断〉	
診断のすすめ方	中島 猛行・他 1578
細小肝癌の病理	内田 俊和・他 1582
腫瘍マーカー: アルファフェトプロ	
ティン 青柳 豊・他 1584	
異常プロトロンビン	藤山 重俊 1588
画像診断	坂口 正剛 1592
肝細胞癌の血管造影診断	
有山 襄・他 1598	
腹腔鏡・肝生検	針原 重義・他 1602
〈肝癌の治療〉	
肝細胞癌に対する治療法の選択	
岡崎 伸生・他 1606	
肝癌に対する油性制癌剤動注療法	
今野 俊光・他 1608	
免疫療法	樋口 清博・他 1612
エタノール局注療法	
真島 康雄・他 1616	
温熱療法	福田 善弘・他 1620
放射線療法	吉川 正治・他 1624
手術療法	角田 司・他 1628
肝移植	野口 孝・他 1632
〈座談会〉	
肝硬変と肝癌	
小林 健一・渡辺 明治	
奥野 忠雄・井上 恭一 1635	
今月の主題・理解のための 10 題	
井上 恭一 1650	
虚血性心疾患の最前線(11)	
interventional treatment の現状と	
問題点	山口 徹 2294
虚血性心疾患を見逃さないために	
水野 杏一・他 2298	
虚血性心疾患治療のプロトコル	
原 和弘・他 2304	
〈発生機序はどこまでわかっているか〉	
狭心症の発生機序	三嶋 正芳・他 2308
心筋梗塞の発生機序	友田 春夫 2311
〈心筋虚血の診断はどこまで可能か〉	
心電図法	川久保 清 2314
RI 法	西村 恒彦 2319
造影法	佐久間 徹・他 2324

<心筋壊死の診断はどこまで可能か>
 心電図法 松下 哲 2330
 超音波法 赤土 正洋・他 2332
 RI 法 小西 得司 2336
 造影法 佐藤 光・他 2339
 <狭心症の conventional treatment>
 抗狭心症薬の使い方 泰江 弘文・他 2342
 抗血小板薬の使い方 吉田 章・他 2347
 高脂血症の治療法 加藤 泰一 2350
 重症狭心症の CCU 治療 本田 喬・他 2352
 薬物治療の end point 大村 延博・他 2358
 運動療法 小川 剛・他 2362
 <心筋梗塞の conventional treatment>
 薬物療法 南野 隆三・他 2366
 血行動態モニタリングをどう活用するか 高野 照夫・他 2369
 高齢者治療の問題点と対策 樫田 光夫・他 2372
 リハビリテーションはどう変わっ
 たか 斎藤 宗靖 2374
 社会復帰と生活指導 新田 政男・他 2376
 <interventional treatment>
 狭心症に対する PTCA 延吉 正清・他 2379
 狭心症に対する CABG 布施 勝生 2384
 心筋梗塞に対する血栓溶解療法 上松瀬勝男・他 2388
 心筋梗塞に対する PTCA 光藤 和明 2394
 <トピックス>
 心筋虚血とプロスタノイド 本宮 武司 2400
 reperfusion injury 片桐 敬・他 2402
 t-PA, Pro-UK 岡田 清孝・他 2404
 PTCA 後の病理組織像 森本紳一郎・他 2407
 <座談会>
 心筋梗塞の治療をめぐる 上松瀬勝男・光藤 和明
 本宮 武司・山口 徹 2411
 今月の主題・理解のための 10 題 山口 徹 2426
 脳卒中 up-to-date(12)
 Editorial/脳卒中診療上の諸問題 山口 武典 2486
 <疫学的問題>
 わが国における脳卒中の頻度と
 病型の推移 田中 平三 2488
 病型別危険因子 上田 一雄 2492
 <脳卒中の発生病理>
 脳出血・脳塞栓の血管病理

厚東 篤生 2494
 脳血栓の成り立ち 緒方 絢・他 2498
 <脳卒中の病態生理>
 脳梗塞と凝固・線溶系の新しい知見 丸山 征郎 2500
 脳循環と脳代謝に関するトピックス 田中 淳二・他 2504
 心・大血管病変と脳卒中 灰田 宗孝・他 2508
 <ベッドサイド診断の問題点>
 脳卒中で見られる意識障害 加茂 久樹・他 2512
 脳卒中と間違われ易い病態 田代 邦雄・他 2514
 ベッドサイドでの病型診断の的中率
 と注意点 神田 直 2516
 脳卒中部位診断のために知っておき
 たい症状—テント上病変 田川 皓一 2518
 脳卒中部位診断のために知っておき
 たい症状—テント下病変 澤田 徹 2524
 <補助診断法>
 DSA の利点・欠点 福住 明夫・他 2530
 頸動脈超音波断層法(2-dimensional
 echo 法)と血管造影法との比較 半田 伸夫・他 2534
 CT の限界—MRI は CT に勝るか 西村 一雅・他 2538
 <治療>
 脳卒中急性期治療の基本 福内 靖男 2542
 脳虚血急性期における Ca 拮抗薬の
 可否 藤島 正敏 2547
 脳血管性痴呆の診断と治療 小林 祥泰 2550
 脳梗塞の再発予防 山之内 博 2556
 <脳卒中における controversy>
 脳出血急性期の高血圧をどうするか
 —積極的降圧の立場から 児玉南海雄・他 2560
 —降圧に消極的な立場から 東儀 英夫 2561
 —コメント 後藤 文男 2561
 脳出血の外科的適応—特に被殻出血、
 皮質下出血 新義 博 2562
 —積極的な立場から 坂井 文彦 2562
 —消極的な立場から 喜多村孝一 2563
 —コメント 喜多村孝一 2563
 くも膜下出血後の脳動脈瘤手術時期
 —超早期手術の立場から 菊地 晴彦・他 2564
 —待期手術の立場から 米倉 正大・他 2565
 —コメント 北村 勝俊 2566
 未破裂脳動脈瘤は手術すべきか
 —手術に積極的な立場から 米川 泰弘・他 2568
 —手術に消極的な立場から

藤田 勝三・他 2569
 —コメント 半田 肇 2571
 無症候性頸動脈病変をどうするか
 —血行再建肯定の立場から 福島 孝徳 2572
 —否定的(姑息的)な立場から 西丸 雄也 2573
 —コメント 田崎 義昭 2574
 リハビリテーションの開始時期
 —早期離床は是非か 三好 正堂 2576
 —積極的早期離床の立場から 栗山 良紘 2577
 —コメント 上田 敏 2578
 <座談会>
 脳卒中急性期治療の実際 飯野 耕三・赫 彰郎
 端 和夫・山口 武典 2580
 今月の主題・理解のための 10 題 山口 武典 2592
 免疫不全と AIDS(13)
 免疫不全発症のメカニズム 矢田 純一 2666
 免疫不全症の診断 向田 直史・他 2672
 免疫不全症の治療 舟田 久 2676
 <先天的免疫不全症>
 T-cell 機能不全症 西谷 皓次・他 2682
 B cell 機能不全症 早川 浩 2685
 慢性肉芽腫症 小林 正夫 2688
 周期性好中球減少症 溝口 秀昭 2692
 補体欠乏症 近藤 元治 2696
 アデノシン・脱アミノ酵素欠損症 倉辻 忠俊 2699
 先天的免疫不全症と悪性腫瘍 崎山 幸雄 2702
 <後天的免疫不全症>
 白血病における顆粒球減少 柴田 弘俊 2706
 多発性骨髄腫(B-cell 不全の例) 山崎 竜弥・他 2711
 T 細胞機能不全症をきたす疾患 四宮 範明 2714
 医原性免疫不全症に伴う感染症の
 治療 渡辺 一功 2717
 <AIDS>
 HIV 感染と AIDS 発症の疫学 北村 敬 2720
 Human immunodeficiency virus
 (HIV) のウイルス学 原田 信志 2724
 AIDS の免疫不全の起こり方 中村 玲子 2728
 HIV の感染経路 相澤 好治・他 2730
 AIDS の病期分類 南谷 幹夫 2732
 AIDS の診断方法 行山 康 2735
 AIDS の自然経過 根岸 昌功 2738
 AIDS にみられる日和見感染症 北原 光夫 2740
 AIDS にみられる悪性腫瘍 今井 浩三 2742

AIDS の神経症状	濱田 潤一・他	2744
AIDS の治療	中村 健	2748
AIDS と血友病	山田 兼雄	2752
AIDS と医療従事者	牛島 廣治	2756
AIDS と予防対策	川名 林治	2760
日本と AIDS の現況と対策	塩川 優一	2764
AIDS の症例	根岸 昌功	2678
今日の主題・理解のための 10 題	北原 光夫	2744

[Current topics]

電子内視鏡の現況	市岡 四象・他	(1) 137
プロスタノイドー研究と臨床の現況	平田 文雄	(3) 510
呼吸筋不全	金野 公郎・他	(8) 1496
癌温熱療法	松田 忠義	(9) 1678
間質性肺疾患—とくに Idiopathic Pulmonary Fibrosis (IPF) をめぐって	泉 孝英・他	(9) 1688

[Discussion/

Controversial Area]

心筋梗塞の治療をどうするか	五十嵐正男・他	(2) 330
---------------	---------	---------

[対 談]

医療認知心理学 Medical cognitive psychology	Elstein AS・福井 次矢	(5) 938
--------------------------------------	------------------	---------

[カラーグラフ]

皮膚病変のみたかたらえ方

／石川 英一・他		
皮膚に原発する癌の臨床像	(1)	106
蕁麻疹、紅斑のみかた	(2)	290
全身性強皮症重症型にみられる皮膚変化	(3)	486
皮膚に発生する組織球系腫瘍病変	(4)	686
全身性エリテマトーデスにみられる皮膚血管病変	(5)	896
無菌性膿疱を認める皮膚疾患の診断	(8)	1436
結合組織病皮膚病変のみかた (その 1)	(9)	1656
結合組織病皮膚病変のみかた (その 2)	(11)	2430
全身性血管炎(壊死性血管炎)の皮膚病変	(12)	2598
免疫不全症候群にみられる皮膚変化	(13)	2778

リンパ節疾患の臨床病理

ホジキン病	茅野 秀一・他	(1) 117
皮膚病性リンパ節炎	新井 栄一・他	(2) 293
壊死性リンパ節炎	茅野 秀一・他	(3) 496

Castleman 病	片山 勲	(4) 696
-------------	------	---------

[グラフ]

消化管造影 基本テクニックと Pitfall

／西俣 寿人・西澤 護		
胃(6)一隆起性病変；境界領域病変	(1)	122
胃(7)一ニッシュの鑑別診断	(2)	298
胃(8)一潰瘍の良性サイクル、悪性サイクル	(3)	498
胃(9)一IIC 型早期癌	(4)	700
胃(10)一IIC 類似進行癌	(5)	900
胃(11)一微小病変, IIb 病変	(7)	1320
胃(12)一スクリス胃癌	(8)	1462
胃(13)一接吻潰瘍, 線状潰瘍, 穿通性潰瘍	(9)	1670
胃(14)一薬剤性潰瘍, Mallory-Weiss 症候群, Zollinger-Ellison 症候群	(11)	2440
十二指腸潰瘍(1)一接吻潰瘍, 線状潰瘍など	(12)	2624
十二指腸潰瘍(2)一出血性潰瘍, 薬剤性潰瘍, 吻合部潰瘍など	(13)	2768

MRI の臨床

MR 診断に関する基本的事項	鳥塚 莞爾	(2) 350
頭部(1)	藤澤 一朗	(4) 708
頭部(2)一顔面の MR	中野 善久	(5) 906
肝疾患における超電導 MRI	伊藤 亨	(7) 1314
甲状腺	野間 恵之	(8) 1470
胆嚢, 膵, 腎	西村 一雅	(9) 1666

非観血的検査法による循環器疾患の

総合診断		
興味ある経過を示した心アミロイドーシスの 1 例	大木 崇・他	(12) 2610

[演 習]

目でみるトレーニング

原田 頼統・他	(1) 109
酒井 正雄・他	(3) 489
石川 勲・他	(4) 689
丹下 剛・他	(8) 1455
相澤 忠範・他	(9) 1659
平賀 洋明・他	(11) 2433
若狭 勝秀・他	(12) 2601
伊藤 浩・他	(13) 2781

心電図演習

石村 孝夫	(1) 131
石村 孝夫	(2) 307
白鳥 健一	(4) 713
石村 孝夫	(5) 911
白鳥 健一	(8) 1479
上原 哲史	(9) 1705

梅澤 剛・他	(11) 2447
白鳥 健一	(12) 2641

実践診療 EXERCISE

関筋痛, 息切れ	高林克己	(1) 147
労作時の呼吸困難	塚本 玲三・他	(1) 149
歩行困難, 体の硬直	山崎 正博	(1) 151
胸部圧迫感	後藤 葉一	(3) 525
労作時の呼吸困難	塚本 玲三	(8) 1475
食事毎に繰り返す喘息発作	前田 裕二	(8) 1477
高血糖, 無月経	野崎 道郎	(9) 1701
胸痛, 腰痛	長谷川節雄	(9) 1703
全身倦怠感, 黄疸	池田 健次	(11) 2471
頭痛, 動悸, 立ちくらみ	友利 直樹	(11) 2473
蛋白尿, 高血圧	安田 元	(12) 2633
息切れ, 胸痛	蝶名林直彦	(12) 2635
四肢の脱力	小島 進	(12) 2637
痙攣, 発熱, 意識障害	亀井 徹正	(12) 2639
多発関節痛, 脱力感	美田 誠二	(13) 2795
悪心, 高血圧	野崎 道郎	(13) 2797

[講 座]

図解病態のしくみ 内分泌代謝疾患

13. 糖尿病の慢性合併症	岩本 安彦・他	(2) 314
14. 高脂血症	松田 文子・他	(4) 718
15. 低血糖症	坂本 美一	(5) 916
16. 痛風	西岡久寿樹	(8) 1486
17. Addison 病・先天性副腎過形成	金子 健蔵・他	(9) 1711
18. アルドステロン症と褐色細胞腫	岡田 耕治・他	(11) 2454

内科診療における心身医学的

アプローチ

循環器疾患(1)一本態性高血圧, 本態性低血圧, 起立性低血圧	菊地 長徳	(1) 158
循環器疾患(2)不整脈, 虚血性心疾患	前田 聡・他	(2) 324
神経・筋疾患	渡辺 克己	(3) 528
呼吸器疾患	永田 頌史・入	(4) 728
消化器疾患(1)一胃・十二指腸潰瘍, ダンピング症候群	川上 澄	(5) 924
消化器疾患(2)一慢性胃炎, 慢性肝炎	関谷 千尋	(8) 1492
消化器疾患(3)一過敏性腸症候群, 潰瘍性大腸炎	河野 友信	(9) 1722
消化器疾患(4)一食道アカラジア, 胆道ジスキネジー, 慢性膵炎	中井 吉英	(11) 2462
代謝・栄養障害をもつ患者(1)一摂食障害	青木 宏之	(12) 2648

代謝・栄養障害をもつ患者(2) 一糖尿病, 肥満 山内 祐一 (13) 2802	院内感染の肺炎の診断 北原 光夫 (5) 932 レンサ球菌感染症北原 光夫 (8) 1516	一冊の本 「遠き落日」 相澤 豊三 (1) 173 「フォークナー短編集」 長井 苑子 (2) 353 「ヨブ記」 吉倉 広 (3) 539 「リウマチ入門」 佐々木智也 (4) 727 「ノーベル賞の光と陰」 水島 裕 (5) 931 「21世紀・健康への展望—医療・健康づくり・プライマリヘルスケアを考える—」 若月 俊一 (8) 1515 「Biochemistry of Disease」 柴田 進 (9) 1729
図解・救命救急治療 心肺蘇生の新しい概念とその限界 山本 保博 (1) 164 救急薬剤の使用法とセットアップ 黒川 顕 (2) 346 重症患者の集中治療におけるモニタ リング 西山 博明・他 (3) 532 止血と出血性ショック 渡辺 千冬・他 (4) 738 急性心筋梗塞の初期治療 田中 啓治 (8) 1504	循環器疾患診療メモ 右室梗塞 山科 章・他 (1) 174 心機能の評価法 高尾 信廣・他 (2) 354 Torsades de pointes 山科 章・他 (3) 540 胸部X線による肺血流の読み方 高尾 信廣・他 (4) 750 不整脈原性右室異形成 arrhythmogenic right ventricular dysplasia (ARVD) 山科 章・他 (5) 934 肺うっ血のX線所見 高尾 信廣・他 (8) 1518 急性心膜炎の心電図所見 山科 章・他 (9) 1708 褐色細胞腫の crisis 時の心電図 と心エコー高尾 信廣・他 (11) 2476 感染性心内膜炎 (infective endo- carditis) の予防 山科 章・他 (12) 2656	CPC／旭中央病院 後腹膜腫瘍の術後2年より、腹痛、 血圧の著明な変動が出現し、腹 部膨隆と acidosis を来して死亡 した66歳、女性 (3) 544 発熱を主訴として入院。抗生剤に反 応せず、副腎皮質ステロイドホル モンが著効を奏したが、腰痛、腹 痛、意識障害などを来して死亡さ れた69歳女性 (8) 1440 心房中隔欠損症手術(6歳)後、普通 生活をしていたが妊娠出産後労作 時息切れ、浮腫が増強し、少量の 喀血を繰り返して死亡された20 歳女性 (13) 2814
検査データをどう読むか 竹中 道子 (4) 744 竹中 道子 (8) 1510 中井 利昭 (9) 1726 櫻林郁之介 (11) 2466 中井 利昭 (12) 2654 猪狩 淳 (13) 2810	新薬情報／清川 重人・他 アゼブチン (1) 154 カルフェニール (2) 340 リドーラ錠 (4) 748 新ピリドンカルボン酸系抗菌剤 (8) 1520 アバン (9) 1730	
症例から学ぶ抗生物質の使い方 糖尿病に伴う尿路感染症 北原 光夫 (1) 170 感染性下痢のマネージメント 北原 光夫 (2) 344 感染性心内膜炎 北原 光夫 (3) 536 嫌気性菌による呼吸器感染症 高橋 幸則・他 (4) 742		